

# 土木遺産小樽港北防波堤の活用

～観光事業者と連携し、一般市民の方々に土木遺産を詳しく知っていただく～

小樽開建



小樽港北防波堤

小樽港北防波堤は、明治41年に工事が完成してから、1世紀以上経過した現在においても第1線防波堤として活躍している日本港湾建設史上希にみる貴重な土木遺産です。

ブロックを斜めに積み重ねることで互いにもたれ合う力を発生させ、波力に対する抵抗力が増す建設当時の最先端技術である「スローピング・ブロックシステム」が採用されている。

小樽港北防波堤 斜塊部



小樽港湾事務所の展示物解説の様子

## 1 [取組趣旨]

小樽港北防波堤は、土木学会選奨「土木遺産」の指定(平成12年)を受けるとともに、「小樽みなと防波堤」として北海道遺産にも選定(平成13年)されています。近年、歴史的土木構造物の文化的・学術的価値に対する関心の高まりを受け、観光事業者(株式会社シービーツアーズ)がバスツアー「北海道遺産の旅」を開始したが、今年度より小樽観光協会を主体として幅広く連携していく。

## 2 [取組内容]

平成23年度は、小樽市観光協会と連携を図り、小樽観光の一部として「小樽港北防波堤」、「おたるみなと資料コーナー」を紹介する。

## 3 [参加等の目的]

小樽観光の一部として、観光客や一般の方々に土木遺産や小樽港の歴史を知って頂くとともに小樽港への理解を深める。

## 4 [実施時期]

平成23年5月～10月

## 5 [実施場所]

小樽市、おたるみなと資料コーナー

## 6 [実施主体]

小樽観光協会

## 7 [協働主体]

小樽開発建設部

## 8 [取組における各者の役割]

小樽開発建設部: 北防波堤に関する展示物の解説など  
小樽観光協会: 観光事業者への紹介、ツアーの企画・実施